

グローバル教育センター 海外インターンシップ 活動報告

本澤海翔さん

経営学部 国際経営学科 2年（派遣当時1年）

本澤さんは1年次であった2019年度に海外インターンシッププログラムに参加しました。業務の様子と学んだことをおうかがいしました。



派遣先：東日本旅客鉄道株式会社 シンガポール事務所 / JAPAN RAIL CAFE SINGAPORE

派遣期間：2020年2月下旬～（3週間）

◇派遣先企業について、また今回携わった業務について教えてください

現地で実際に行った業務内容としては、オフィスでの業務、カフェでの業務と、主に2つに分かれていました。オフィス業務では、JR東日本シンガポール事務所のマーケティングチームにて、日本のPR記事の作成、新しい企画の発案、ホームページの翻訳を行わせていただきました。

一方で、カフェでの業務ですが、オフィスの近くにある JAPAN RAIL CAFE という、日本食や日本の商品を販売しながら、日本へのインバウンドを増加させるというコンセプトを基に設立されたカフェで Travel Communicator として、外国人観光客向けの JR Pass の販売促進等を行いました。特にこの業務では現地のお客様と実際にコミュニケーションをとるという場面がほとんどなので、英語を使用する頻度がとても多かったです。また、JR Pass の販売促進の他にも、日本での旅行計画や、訪れたい場所を聞かれる場面も多々あったので、インターネットで調べたり、私自身の日本に関する知識を基にしたりしながら、提案を行いました。



企画のプレゼンにて

◇印象に残っているエピソードを教えてください

企画に関するプレゼンを行わせていただいた時です。オフィスでの業務内容で、とある企画の発案をするという業務がありました。約3週間という限られた時間の中での発案となりましたが、最終的に自らお願いをし、スタッフの方々の貴重なお時間を頂いて企画の内容を提案させていただきました。

経営学部のカリキュラムにおいて、英語でビジネスプランを提案した経験はありますが、今回はすべ

てが初体験のことでした。個人で考え、直接企業の方にプレゼンを行うという経験はとても貴重でした。さらに、プレゼンに対しフィードバックもいただくことが出来ました。プレゼンをさせていただいたうえで、現地企業の方々からフィードバックもいただけたという経験は自分の大きな財産になりました。

◇海外で働いてみて、気づきや自身の成長・変化があれば教えてください

海外で働いてみての大きな気づきとして、早い段階から積極的に自分の意見を提示することが、とても重要なカギになると思いました。というのも、遠慮してはお互いの信頼関係が築けないからです。私の性格として、シャイな部分があります。そのため、今までは受け身になることが多く、今回のインターンでは「自ら積極的に行動する」ことを1つの目標としていました。

特に、カフェでの業務では、現地の方（シンガポール人）も多く働いており、スタッフ同士常に意思疎通を図っているのが分かりました。そこで私も受け身になっては成長できないと思い、インターン初日から、その場で感じた点をできるだけ伝えるなど、意思表示を行うようにしました。このようなこともあり、私自身の働き方に関するアドバイスや工夫する点を相手側から教えていただく事も出来ました。自分の意思表示を行うことや、円滑なコミュニケーションを図ることが、信頼関係を築くうえでも重要だと感じました。



◇将来に向けて、また帰国後の学生生活の目標を教えてください

私は、日本のみではなく、海外に出て活躍したいと考えています。この目標を達成するためにも、今回のインターンシップで学んだことをこれから先も実践していきたいです。特に、積極的な姿勢に関しては、どんな場面においても重要になってくるかと思っています。私は、この先も留学や日本でのインターンシップにチャレンジをしていきたいと思っています。どのような場においても、今回のインターンシップのように有意義に過ごせるよう、受け身にならず、自らで将来を切り開いていけるようにしていきたいです。



社員の方と

そのためにも、今回の海外インターンシップを通して得ることのできたたくさんの学びを、日ごろの生活や授業においても生かせるように意識をしていきたいです。

またそこから、新たな学びや発見をし続けていきたいです。